

令和7年9月 28 日(日)

【午前】日本の近現代史②



第14期Aコースの研修生は、「国際秩序の変化～第一次世界大戦勃発から第二次世界大戦終結まで～」をテーマに「日本の近現代史講義2」を研修しました。研修生は、事前研修動画を視聴し、事前課題に取り組んだ上で研修に臨みました。

Aコースの研修生は、オーストラリア又はニュージーランドに留学を予定しており、講義動画を視聴して様々な観点から事前課題をまとめていました。そして、5人程度のグループで各自の事前課題を発表し合い、協議しました。さらに、協議した内容を全体場で発表し合いながら、学習を深めました。研修生の事前課題をテーマごとにまとめると、「オーストラリアから見た日本軍のオーストラリア本土攻撃」、「太平洋戦争に関する日本とオーストラリアの教科書の扱い」、「原爆投下への日本・オーストラリア・アメリカそれぞれの見方」など、内容の濃いものでした。

留学した際には、現地の人だけでなく、他の国や地域からの留学生からも、第一次世界大戦勃発から第二次世界大戦終結までの歴史的事象について様々な質問が出されることが予測されます。研修生はこのことを踏まえ、熱心に研修に取り組んでいました。

令和7年9月 28 日(日)

【午後】ゼミナール②

第14期Aコース研修生は、9月28日(日)にゼミナール研究(第2回)を行いました。今回は、ゼミナール研究(第1回)で行った「研究テーマを考えよう(その3)」を踏まえて、各自が作成した「研究アウトライン(様式1)」をグループで発表し、これについて協議しました。

ゼミナール研究は、授業支援プラットフォームを活用して、次のように進められました。

- (1)①研究テーマと研究の目的②研究仮説③現状④課題について一人ずつ発表する。
- (2)発表について<問題点・疑問点>を授業支援プラットフォームの画面上で赤の付箋紙に、
<優れた点等>を青色の付箋紙に記入する。
- (3)発表者は記入された付箋紙をまとめ、記入者が説明する。
- (4)発表者は疑問点について答え、グループ全員で研究テーマが社会的課題としてふさわしいか、改善点がないかなどについて意見交換する。

このような発表、協議を一人15分ずつ行いました。そして、それぞれのグループでの協議から全体として共有しておきたいことについて、発表して説明し、協議を行いました。このことにより、今後のそれぞれのゼミナール研究の在り方、進め方等について深めていくことができました。

研修生は今回の協議を通して学んだことを振り返り、「ゼミナール研究振り返りシート」に①発表・協議で学んだこと②今後の取組③研究テーマ・副題の見直し、その内容を記入し、記録として残しました。今後、どのように具体的に調査をしていくか、インタビューやアンケートの内容・方法等も含めて検討していくことになります。

